

## 審議会等会議録

審議会等の名称	平成 25 年度山口市地域福祉計画・山口市地域福祉活動計画評価委員会
開催日時	平成 25 年 6 月 25 日（火曜日）10:00～12:00
開催場所	山口総合支所 第 11 会議室
公開・部分公開の区分	公開
出席者	草平委員、高野委員、小泉委員、重富委員、浴井委員、内田委員、岡山委員、藤田委員、藤井委員
欠席者	澤村委員、山村委員
事務局	<p>【市健康福祉部】</p> <p>大田部長、大深理事、有田次長、有田参事、重富課長、栗田課長、中川課長、田中課長、山本主幹、伊藤副主幹、二段主査</p> <p>【市社会福祉協議会】</p> <p>原会長、野村次長、難波事務局長、時乗事務局長、山本事務局長、林事務局長、福原事務局長、松村主幹、田中主査、中田主任</p>
議題	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 山口市健康福祉部長あいさつ</li> <li>2 山口市社会福祉協議会会長あいさつ</li> <li>3 自己紹介</li> <li>4 議事 <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 平成 24 年度実施状況及び平成 25 年度実施予定について <ol style="list-style-type: none"> <li>①基本目標 1 「自立支援と社会参加による支え合いの仕組みづくり」</li> <li>②基本目標 2 「安全安心して生活できる地域づくり」</li> <li>③基本目標 3 「総合的な福祉サービスの向上」</li> </ol> </li> <li>(2) 次期計画の策定状況について</li> <li>(3) その他</li> </ol> </li> </ol>
内容	<p>次第に基づき、次のとおり進められた。</p> <p>【事務局】</p> <p>ただいまから、平成 25 年度山口市地域福祉計画・山口市地域福祉活動計画評価委員会を開会します。本日は、御多用中にもかかわらず、本評価委員会に御出席いただきまして、誠にありがとうございます。</p> <p>今回の評価委員会は、現行計画策定後毎年度実施しておりまして、4 回目の評価委員会となります。会議では、平成 24 年度の実施状況並びに平成 25 年度の実施予定等につきまして、皆様方に御協議賜りたいと存じますので、よろしく申し上げます。</p> <p>なお、評価委員会における審議状況等につきましては、市及び市社協のホームページ上において市民の皆様に対して公開してきております。ついては、例年により本日の会議内容を記録させていただき、委員の皆様方のお名前や所属等記載されました名簿、評価委員会の会議録等につきましても、公開とさせていただきたいと考えておりますが、御異議ございませんでしょうか。</p> <p>〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕</p>

1 健康福祉部  
長あいさつ

ありがとうございます。では、そのようにさせていただきます。  
また、本日御審議いただく事項は、会議次第のとおりでございます。  
会議の終了は、正午を予定しておりますので、円滑な会議運営となりますよう、御協力をお願いします。

【事務局】

はじめに、次第1、山口市健康福祉部長挨拶を大田部長が申し上げます。

【大田部長】

皆様、おはようございます。健康福祉部長の大田でございます。

平素から皆様方におかれましては、市政各般にわたりまして、御協力をいただいております。誠にありがとうございます。また、本日は大変お忙しい中を、平成25年度地域福祉計画・地域福祉活動計画評価委員会に御出席を賜り、誠にありがとうございます。

また、現在、進めております次期計画の策定におきましても、それぞれのお立場から策定委員として御参画いただいております。これまでに各部会も会を重ねまして本格的な議論が進んでいるように伺いいたしております。委員の皆様方の多大なる御協力に対しまして、改めて厚くお礼を申し上げます。

さて、御案内のとおり、少子高齢化や人口減少とともに、家庭、地域での関係の希薄化が進行いたしております。孤立死や孤独死が大きな社会問題になってきており、各地の痛ましい事案を耳にしない日はないところです。

また、国におきましては、東日本大震災を教訓といたしまして、災害時要援護者の名簿作成の義務化に向けまして、個人情報保護との兼ね合いに慎重にならざるを得ない市町村に法的なお墨付きを与え、災害時は同意なしで外部に情報提供できるとした「災害対策基本法」の改正が進められるなど、安心して暮らせる地域社会の実現は、全国的な最重要課題の一つとなっているところです。

このような状況の中で、本市におきましては、平成25年度から29年度までのまちづくりの方向性や目標等を示します「山口市総合計画 後期まちづくり計画」を策定いたしましたところございまして、「人々の絆に支えられた温かみのある地域社会」の構築を目指す中で、「要援護者支援体制の機能強化」を明確に位置づけるなど、多くの市民の皆様方の参画を得ながら、人々がつながる、また、支えあえるような場づくりの支援、さらには、支え合い体制の強化に取り組んでいるところです。

今年度の具体的な取り組みといたしまして、複層的な見守りネットワークの構築に向けまして、県において生活関連事業者の本社等との包括的な協定締結に向けて協議が進められる中で、本市では、阿知須地区が県下のモデルに手をあげていただきまして、民間事業者や関係団体、住民が連携した持続的・効果的な見守りのしくみづくりに向けまして、意見交換会や模擬訓練に取り組まれることとなっています。

こうした中で、本日の評価委員会におきましては、昨年度の具体的な取り組みや今後の実施予定などを御説明させていただきますので、委員の皆様

	<p>各方面からの御意見等いただき、今後の事業推進さらには次期計画の策定に反映してまいりたいと考えておりますので、忌憚のない御提言等賜りますようお願い申し上げます。</p> <p>最後になりましたが、委員の皆様方の益々の御健勝と御活躍を祈念し、私からの御挨拶とさせていただきます。</p> <p>本日はどうぞよろしくお願い致します。</p>
<p>2 市社会福祉協議会長あいさつ</p>	<p><b>【事務局】</b> 続きまして、次第2、市社会福祉協議会会長挨拶を原会長が申し上げます。</p> <p><b>【原会長】</b> 皆様、おはようございます。市社会福祉協議会の原でございます。 本日は大変お忙しい中を、この評価委員会に御出席をいただき、誠にありがとうございます。また、平素は社会福祉協議会の業務に御支援、御協力をいただいております。心から御礼を申し上げます。 本日は、現行計画の4年次の取り組み及び進捗状況について御説明いたしまして、評価委員の皆様方から市民の目線で評価をいただき、その結果を次期計画に生かしてまいりたいと考えておりますので、忌憚のない御意見を賜りますようお願いし、御挨拶といたします。</p>
<p>3 自己紹介</p>	<p><b>【事務局】</b> 続きまして、次第3、自己紹介でございます。 去る2月4日の第1回計画策定委員会におきまして、皆様顔をあわせておられますが、時間も少し経過しておりますので、簡単に所属団体名とお名前について、自己紹介をお願いできたらと存じます。 なお、次第の資料に委員名簿を掲載しておりますので、御覧ください。 また、本日の欠席委員は、澤村委員、山村委員です。</p> <p>〔委員、役職員による自己紹介〕</p>
<p>4 議事 (1) 平成24年度実施状況及び平成25年度実施予定について ①基本目標1「自立支援と社会参加による支え合いの仕組みづくり」</p>	<p><b>【事務局】</b> 続きまして、次第4、議事でございます。 議事の進行につきましては、評価委員会設置要綱第5条第1項の規定に基づき、草平会長の方でお願いしたいと存じます。 それでは草平会長、よろしく申し上げます。</p> <p><b>【草平会長】</b> ただいま紹介がありましたが、次第に基づき議事を進行していきますので、どうぞよろしくお願い致します。 はじめに、(1)平成24年度実施状況及び平成25年度実施予定について、基本目標1から基本目標3まで、それぞれ事務局から説明を受け、皆様方から御質問や御意見をいただくかたちで進行していきます。 それでは、基本目標1「自立支援と社会参加による支え合いの仕組みづく</p>

り」について、事務局から説明をお願いします。

#### 【事務局】

基本目標1について、順次活動ごとに市社協の取り組み、さらには市の取り組みについて、説明させていただきます。資料1を御覧ください。

1ページ、活動目標1「ボランティア活動や市民活動の推進」です。

①「地域福祉活動の啓発推進による財源の確保」について、市社協では24年度は地域福祉活動の意義を周知し、募金活動等の使途のPRに努め、民間助成の活用についても周知を図りました。25年度は基盤強化対策室を立ち上げ、社協組織の基盤強化を図っていきます。また、社協だよりを通じて、赤い羽根共同募金や歳末助け合い募金の使途を掲載して周知を図り、民間助成の活用についても周知を図っていきます。なお、資料3として、昨年度の社協だよりの抜粋ですが、2か月に1回全戸配布しており、市民の皆様には地域活動や共同募金などの内容を掲載してPRしています。そのほかの事業についても色々掲載していますが、説明は省略します。

次に⑤「市民活動団体同士のネットワーク機能の充実」について、市では市民活動グループ間の交流と交流支援策の実施として、協働推進課の所管で市民活動支援センター主催による交流会を実施、61名が参加して開催したところであり、25年度も同様に交流会を予定しています。

次に2ページ、活動目標2「地域福祉の人材発掘・育成の推進」です。

①「ボランティア養成事業の推進」について、市社協では24年度に災害ボランティア登録者を対象に、災害ボランティアリーダー研修会を25年1月12日に開催しています。また、2月14日に団塊の世代の方を対象とした、「孫育てから始める地域の子育て講座」を開催し、20名程度の受講者を得ています。25年度も同様に災害ボランティアリーダー研修会を26年1月に予定しており、団塊の世代向けの講座も予定しています。市では、ボランティア養成の支援として、高齢・障害福祉課の所管で24年度は手話奉仕員養成講座、要約筆記奉仕員養成講座、手話・点字教室、認知症サポーター養成事業を実施しており、25年度も同様の取り組みを予定しています。また、市報等によるボランティア活動のPRとして、社会課の所管で市報の配布ルートを活用して、市社協だより等の広報誌を広く市民の皆様に配布して、広報・周知に努めてきたところであり、25年度も同様の取り組みを予定しています。

次に3ページ、活動目標3「福祉教育の推進」です。

②「福祉教育推進指定校の設置」について、新規活動ということで、この現行計画で新たに位置づけた活動ということです。市社協では、22年度より希望校の中から毎年小学校2校、中学校1校を指定しています。24年度現在で9校の小・中学校を指定しており、学校は記載のとおりです。25年度は島地小学校とさくら小学校、仁保中学校と川西中学校の計4校を既に指定したところですが、市では、福祉教育推進指定校の支援ということで、社会課の所管で福祉教育推進指定校へ補助金を交付し支援を行い、25年度も同様の取り組みを予定しています。また、学校教育課の所管で福祉教育推進指定校への調整及び支援を行ってきており、25年度も同様です。

次に④「学校と地域と社協の福祉教育協働事業の推進」について、市社協では24年度にひびき少年塾で地域の老人クラブ会員に伝承活動として注連縄、竹とんぼ作りを阿東地域で指導していただき、平川小学校と平川地区社会福祉協議会が協働して、地域の花壇の整備を行い花いっぱい活動を実施していただき、阿知須支部で福祉教育ボランティア委員会を設置して協働事業を行いました。25年度はひびき少年塾を継続的に協力させていただき、学校や地域の団体と交流を図ることにしています。市では、学校と地域の福祉教育協働事業の支援ということで、学校教育課の所管で学校と地域が一体となったコミュニティースクールを目指して、地域に開かれた学校づくりを進めまして、25年度も同様に進めていきます。

次に、活動目標4「ユニバーサルデザインのまちづくりの推進」です。

①「ユニバーサルデザイン普及啓発の推進」について、市社協では24年度にユニバーサルデザインの理解度を高めるため、福祉体験学習等を通じ、ユニバーサルデザインの意識啓発に努めています。また、小学校4年の総合的な学習の時間において、すべての人に使いやすいデザインの工夫を考えるとともに、ユニバーサルデザインとバリアフリーの違いについて紹介しました。福祉体験学習の数は、市内の小学校で13校依頼があり、職員が出向いて協力させていただきました。25年度も福祉体験学習等に出向いた折に、ユニバーサルデザイン等の紹介を行い、理解を深めるとともに、総合的な学習においても昨年同様のことを実施していく予定です。市では、情報発信の場づくり、推進者との連携、SPコードの普及等があり、高齢・障害福祉課の所管で各種計画の点字資料作成を支援、各種審議会の資料にSPコードを導入、そのほか筆談用耳マークの設置等があります。25年度も同様の取り組みを予定しています。

次に活動目標5「企業の社会貢献活動・地域の地域貢献活動の推進」です。

③「企業ボランティア活動促進モデル事業所」の指定及び開拓について、市社協では24年度企業ボランティア活動促進モデル事業所として、株式会社山口井筒屋を県社会福祉協議会へ推薦し、企業の社会貢献活動のモデル事業所として指定を受けさせていただきました。なお、この事業は平成8年度から始まっており、市内20の企業、事業所が指定を受けていただいています。25年度も企業や事業所等にお願ひしまして、県社会福祉協議会へ推薦したいと考えています。

以上が基本目標1の説明ですが、資料4を配布してしまして、現行計画策定以降に過去3回の評価委員会を開催していますが、その中ででの主な意見をとりまとめているので、参考にしていただいたらと存じます。

**【草平会長】**

基本目標1について、事務局から説明していただきましたが、御質問、御意見等ございましたら、よろしくお願ひします。

高野副会長。

**【高野副会長】**

説明された内容は、順調に進んでいる内容についての説明なのか、それと

も何か課題があってこの点を中心に考えるということなののでしょうか。例えば基本目標1であれば、財源を確保するという事で、①と⑤の説明をされましたが、①でいくと共同募金についてPRし、基盤強化対策室を立ち上げたので実績が上がったというような視点なのか、それとも何か課題があるということなののでしょうか。それ以外の②③④⑥は、概ね順調であると考えてよいのでしょうか。

**【草平会長】**

事務局からお願いします。

**【事務局】**

活動目標1「ボランティア活動や市民活動の推進」の項目であれば、主に課題としてあがってくるのが財源の確保ということであり、毎年の評価委員会においても取り上げて説明させていただいています。そのほかについても、主に課題としてあるような内容であるとか、現行計画における新規事業であるとか、そういった内容を主に説明させていただいています。

**【草平会長】**

よろしいでしょうか。はい。

岡山委員。

**【岡山委員】**

福祉教育の推進について、指定校が小学校は2、中学校は2ということでした。私どものすぐ近くに、小鯖小学校があるんです。学級活動をするということで、2、3年に1回、学級活動で音楽の交流会をやりたいということで、うちは吹奏楽もやっていますので、そこに行って1時間ばかり交流会を持ちます。その時に生徒さんに、「鳴滝園があるのを知っていますか？」と聞くと5、6人しか手が上がらない。校長先生とお話ししたんですけど、せっかく隣に福祉があるので、学級活動をどうぞ園の方に来て、一緒に作業したり、ここの人たちはどういう生き方をして、障害を持っていても、地域の中で普通に暮らす、頑張っているところを、一緒に体験してもらうのがもっといいと思うんですがという話をしました。そうしたらぜひ4年生のクラスを毎年、学習とか教育の一環としてそれを設けましょうとおっしゃったんです。

指定校になるから来るとかではなく、近くに福祉があれば、4年生には福祉の時間というのがあるそうなんです。校長先生が「行っていいのでしょうか？」と気兼ねをしているみたいで、「現場に行ってお邪魔にならないでしょうか？」とおっしゃっていましたが、私は小さい頃からずっと福祉を体で実感してもらって、健康に生まれたありがたさ、弱い立場の人への思いやりを育ててもらえたらいいなと思いますので、指定校ではなくても、積極的にそういうことを進めてもらうといいなと思いました。

**【草平会長】**

指定校に関して、この福祉教育の実際という辺りが、現に鳴滝園さんでは小鯖小学校と指定校に関わらず進んでいますよということです。そういった活動が分かれば、指定したというだけではなく、実際にどんな活動をされているか分かればという御意見ではないかなと思います。

藤田委員。

**【藤田委員】**

策定委員から評価委員会を含めて7年間携わっていますが、福祉教育推進指定校を設けていこうという新規活動ですが、実際には指定校ではなくても、今まで4年生の総合的な学習授業の時間で福祉をやっている、指定校ではなくてもそれぞれ地域ごとに、また学校ごとにそういう活動を入れていまして、さらにそれをもう一つ進めたいというのと同時に、学校は本当にお金がないんですね。お金がないものですから、例えばアイマスクであるとか、そういうものを整備したいということで、指定校ということでお金の配分をいただくと、少しでも学校として進むのではないかとということで、現行計画の策定の中で新規事業というかたちで出てきたものです。そうすると、手をあげて指定校をいただくことで、もちろんぐっと進みますけれども、それ以外でも指定校を受けてなくても、地域の社協に来ていただいて、一緒にアイマスクの体験だとか、車椅子の体験だとかということを推し進めています。また、それこそおっしゃったように、地域の老人福祉施設というようなところともつながっていきますので、この辺のつながりについては、両者がもっと声掛けをしていかなければならないだろうと、もちろん学校も声をかけていかなければならないし、地域の方でも来てくださいねということで、双方向的にやる必要があるのかなと思っていて、その辺もまだ弱いのかなと思っています。

**【草平会長】**

この評価の部分が、市社協という中と、それから市の方では社会課、学校教育課というかたちで、いわゆるそれぞれ現場を持たない中での評価ですので、現場ではもう少し動いている実態があるということでしょう。そういうことも、またこの評価の中で出てくれば、次の方針なりが立つのではないかなと思います。

浴井委員。

**【浴井委員】**

基本的に地域福祉活動は人づくりが一番基本ではないかと思っています。いつも人づくりにこだわるんですけど、2ページの②で市社協と市にお尋ねですが、市社協の24年度実施状況で「地域福祉を進める市民活動団体との連絡調整及び人材育成に努めた」とあります。一つは「市民活動団体」というのは具体的にはどんな団体なのか、「人材育成に努めた」とあるけど、具体的にどういう方法で、どういうことをやられたのか。市では、24年度の実施状況「人材養成講習会等の開催」とありますが、この開催の後やりっぱなしなのか、それとも何か参加者にフォローといいますか、継続した働きかけがな

されていたのか。

先日、ひとづくり部会があり参加しました。色々御意見等も聞いたのですが、各地区から出ているアンケートの結果は「人手不足」「後継者がいない」そういう意見がものすごく多いです。この計画を見ますと、21年から始まっており、もう5年たっている。なお各地区では困っている、困難である、人づくりが不足している。これではこの5年間、一体何を具体的に進めてきたのか、お題目だけで終わっているのではないか。評価委員会のこれまでの意見の中で、人づくりは非常に難しい、だからただ単に講習会をやった、呼びかけただけで達成するものではない、もう少しきめ細かな計画が必要だろうと思うんです。先日のひとづくり部会ワークショップですが、まさに人づくりのためにどうするか、委員の方が10名ぐらいおられたのですが、小さい紙に書いて壁に貼るわけですが、それが13項目くらいあって、それぞれの所要時間が1分か2分で、思いつきで書いて貼る。それを司会の方がまとめられて「こういう方法ですね」ということで終わる。これじゃあ前へは進まないんじゃないかなというふうに思ったわけです。

改めて質問ですが、市社協の「人材育成に努めた」ということの実態と、市の「講習会の開催」について伺います。

**【草平会長】**

事務局からお願いします。

**【事務局】**

市民活動団体について、捉え方が色々あるかと思いますが、主に市社協としては、福祉に関わるNPO法人、評価委員でもあります「支えてネットワーク」さんであるとか、ほかにも色々な団体さんがいらっしゃるのですが、主にはそういった団体等とのお付き合いといたしますか、連携等させていただいています。御紹介させていただきますが、「支えてネットワーク」さんと一緒に、引きこもりの講演会を阿知須支部を会場に実施させていただいておりますし、ボランティアグループ等の中でもNPO法人化された団体への助言、指導等によってお手伝いさせていただいております。ボランティア団体からの市民活動等については、この中には紹介させていただいておりません。社協という特性から、主に福祉団体等との連携、協力によって機会があれば講座等を実施していくというふうに考えています。

**【事務局】**

市の社会課の方からですが、この取り組みが協働推進課の所管ということで、大変申し訳ございませんが、講習会等の詳細な資料を持ち合わせておりませんけれども、まさに協働推進課は地域づくりの所管課でございます、協働のまちづくりは委員さんももちろん御存知のように、市の進める最も重要な政策も1つでございますので、いろんなかたちでの人材養成はされておられるものと考えております。それから、人材派遣のコーディネートということで、各21地域がいろんなかたちで地域づくりを進められるうえで、地域にあった様々な先生方の御紹介等もされておると聞いておりますので、そ



ういう取り組み等を通じて、地域での人材養成にもつながっているのかなと  
考えています。

**【草平会長】**

よろしゅうございますか。また、次の課題といったかたちで、御意見等  
いただければと思いますが、いかがでしょうか。

浴井委員。

**【浴井委員】**

市社協の方で、どのように人材育成に努められたのか、その辺りもう少し  
お伺いしたいのですが。

**【草平会長】**

事務局。

**【事務局】**

具体的な人材育成については、御紹介しましたように引きこもりの講演会  
等を募集させていただき、参加いただく中で人材育成を行っていく、色々な  
講演会や講習会等を通じて、人づくりに取り組んでいるところです。

**【草平会長】**

重富委員。

**【重富委員】**

現在、市ボ連の顧問をやっていますし、以前は会長もやっていたのですが、  
その当時から人材の高齢化ということが盛んに言われてきて、私もボランテ  
ィアを持っているのですが、20数名いた仲間が12、3人しかいなくなり、  
高齢化による退会ということが進んでいると思うんです。私の地元の宮野に  
おいても、地域でのボランティア団体が解散してしまったり、そういった状  
況で、それぞれの地域でもっとボランティア活動の人材の発掘が大事になっ  
てくるのではないかなと思うんです。何かやろうとしても、ボランティアを募  
集しても出ないので、地域の役員が出なきゃいけない。その役員も、我々の  
ような高齢化が進んできて、なかなか活動できない、そういう状況で、やは  
り地域でもっともっと若い方のボランティアの育成、人材の育成がこれから  
大事になるのではないかなと私は受け止めています。

**【草平会長】**

人材育成に努めたというところについて、もう少し具体的にどう進めてき  
たのかという評価が必要ではないかという御意見ではないかと思えます。た  
だ、今話題になっていますボランティアの方々の活動と、その交代と高齢化  
とかですね。あるいは地域活動を支えていらっしゃる方の高齢化、あるいは  
ごく一部の方で担われているという実態がある、それらに関してなんらかの  
市全体の働きかけはなかったのでしょうかという御質問と思われるのです

が、そのところはやや具体的な戦略辺りがなかったのかというところで少しまとめていただければと思います。その後の基本目標2が地域づくりになりますので、当然担い手の発掘はあわせて課題になるかと思えます。そこで詳しく出ているのか、あるいはまだまだその評価の軸が少ないのか、市内全体でそれぞれの人づくりというかたちで、人材育成についてのまとめには若干記載が詳しくないですが、次の目標の中で表現を汲みとれるのかどうか、もう少し検証していきたいと思えます。

基本目標1について、ほかにありませんでしょうか。

藤井委員。

#### 【藤井委員】

1ページの①財源の確保について、NPO法人市民活動団体の代表ですが、やはり課題は財源をいかに確保するかということが共通しており、その中で特に感じるのが共同募金を市社協の方で集めて配布した、どういうところに出したという記事が載っています。私たちが思っているのは、共同募金の前の指定寄付、指定寄付は寄付者側に選択権がありますし、寄付者側の思いを事業に反映するという意味においては、指定寄付が一番望ましいかなと思えます。いい事例として、宇部医大のロビーに設置しています自動販売機の清涼飲料水について、2円か3円か分かりませんが成年後見制度の後見人の活動財源として指定するという、これは後程出てきておりますけれども、企業貢献に繋がるかなと思うのですが、その寄付が指定されています。こういうかたちの寄付活動、募金活動が望ましいと思っています。

加えて、人づくりのことですが、市社協の共催、後援をいただきながら、市からもいただいておりますけれども、我々がやっているのはまさに人材育成、人材養成です。今年度も4、5回講座を計画しています。どういう人材を養成するのと言ったら、引きこもりのサポーターの養成講座で、引きこもりの支援の中で一番必要なのはやはりサポーター、支援者です。家族と本人を支援するという2つの意味があるんですが、これをどうするかというのが大きな課題でした。この背景には、財源の確保に繋がっています。

#### 【草平会長】

市民活動の財源確保について、ヒントがあるのではないかというところでした。もう1つは、個別の課題として引きこもりについているサポーターの活動、そういった人づくりの活動をしていますということでした。

私の方からも質問をしたいと思うのですが、山口県共募が全国でも率先して、募金百貨店という活動ですかね。代表的なのが山口市内のお弁当屋さん、募金付きのお弁当を頼んで設定してもらい、500円のお弁当で10円の寄付を設定して、それらを共同募金の寄付金付き商品売り出すというかたちで全県的には非常に数字が伸びているのですが、山口市会の中では、そういう影響があるのか、あるいはそれに乗っかるのか、あるいは県共募がキャンペーンをやっているのか、その辺りをどうするのか、一緒にやっているのかどうかいかがでしょうか。

**【事務局】**

県共募が進めておられます募金百貨店ですが、市内でも弁当屋さんとか、居酒屋さんとか、それぞれ企業側が御協力いただけないと進まないんですが、市社協と協働して、主に市内に県共募があるということで、県共募が音頭を取っていただいています、進めさせていただいています。

資料3の3ページに、募金百貨店プロジェクトということで 西京土地建物株式会社と有限会社大樹産業を紹介させていただいていますが、確か湯田の居酒屋さんが御協力いただいていると聞いています。社協としてもこういったことをPRしながら、進めていきたいと考えています。

**【草平会長】**

実際、山口市の募金の中から金額的にはいかがですか。

**【事務局】**

実績は把握しておりませんが、こういうかたちで啓発ができて、多くの事業所に協力していただければ、徐々にではあります募金額の増額に繋がるのではないかと考えています。

**【草平会長】**

内田委員。

**【内田委員】**

活動目標5、企業の社会貢献に①②③とありますが、モデル事業とかでもいいですが、非常に問題になっているのが地域の福祉、自治という力がどんどん弱まっている。要するに高齢化ということで、地域の自治会含めてほとんど活動されているのは高齢者の方々、しかも後期高齢者の方々にバトンタッチされている実態があります。そういった中で、若い人の力を育成する、つまり働いている人たちの自治会活動、あるいはボランティア活動含めて、民生委員への参加とか、そういったかたちの働きかけ、つまり企業に勤めながらもそういった活動ができるような社会づくりというのを、行政サイドで仕掛けていかないと、これから先さらに高齢化が進んで人口減少が起こったときに、自治そのものが崩れてしまうという現象が必ず起こりうると思います。働く職場への働きかけ、自治会活動も含めたものがもっと大らかにできるような仕組みづくというのは、何か仕掛けをされているのでしょうか。

**【草平会長】**

協働のまちづくりを山口市は進めておられますけれど、それはそれで健康福祉部は関係ないということでなく、そういった企業への働きかけはあるのでしょうかという御意見ですが、いかがでしょうか。事務局というより、市全体の課題という感じがしますけれども、今日はなかなか答えは難しいかと思いますが、そういった働きかけが必要だという御意見です。

内田委員。

②基本目標2「安全安心して生活できる地域づくり」

**【内田委員】**

実際に働いている側とすれば、例えば自治会の役員になるときに、本当に熾烈な戦いがあるわけです。若い人の自治会長はほとんどいらっしやらないと思います。当然、それなりの時間も必要ですし、それらが本当に参加できるような社会づくりの仕掛けをしていかないと、退職されたOBの方々におんぶにだっこでは大変な社会になっていくと思いますので、そういう危機感があるものですから申し上げました。

**【草平会長】**

御意見として賜り、次の計画の方に必ず繋がっていく課題だと思います。自治会活動というのは、福祉に関係ないわけではないと思います。協働のまちづくりの方の課題でもあるし、地域福祉を進めていくのにも自治会活動に、福祉活動を中心に、実際に仕事に就いている方々の参加について企業に了解が得られる、そういう働きかけが行政として行われているかどうかということですね。協働のまちづくりが推進されているということは、当然市民の参加をお願いしていて、行政と市民が一緒になってつくるまちということですので、福祉でも重要な点ということで、次の策定のポイントの一つになると思います。

小泉委員。

**【小泉委員】**

自治会の関係で昔から疑問を感じているのですが、小地域福祉活動計画と地域づくり計画の2つが、どんな感じでどうなっていくのか。我々、末端では必ずこの2つの計画が重なってくるんです。上から来るのが2つの命令系統で来る中で、我々は計画はつくるけど、どう動いていいのかというのが、非常に難しい問題でもあります。もう少し噛み合わせていく方法がないのかと、福祉の関係も自治会の関係も非常に仕事が多い、事業が多いということで、現役の方はお世話できる状況にないというのが現実です。私どもの小さい自治会ですけど、やはり平均年齢は70歳くらいです。自治会長も役員もほとんどそうです。仕事を辞められて、それからでないと地域のお世話を頼めないという状況にあるんです。それを打開しないといけない。企業にお勤めの現役の方にも入ってもらいたいけれど、名前だけ入って全然活動できない状況にあります。消防団員についても、若い消防団員がいませんので、いざという時に集まれる状況でない。こうしたことを上手に考えていくといいなと思っています。

**【草平会長】**

地域福祉活動に関わっていく方々の問題として、これは次期計画の方で、協働のまちづくりとの関連について、全て整理はできないかもしれないけれど課題を整理していこうと考えています。次の基本目標2で地域福祉活動計画等についても出ますので、基本目標1はこの辺りで、課題もかなり出てきましたので、次の基本目標に移ってもよろしゅうございますか。はい。

では基本目標2について、事務局から説明をお願いします。

### 【事務局】

それでは基本目標2「安全安心して生活できる地域づくり」です。

活動目標1「地域の生活課題の発見・把握と仕組みづくり」です。

①地区住民座談会の開催について、市社協では24年度に徳地柚野地区社協を指定し、地区住民座談会開催の支援を行っています。住民座談会は3回開催させていただいています。25年度は阿知須地域、小郡地域、阿東地域の3地域に住民座談会を開催していただき、その支援を行うこととしています。市では地区住民座談会の開催支援ということで、出席して意見交換を図ってきました。25年度も同様に先程御紹介のありました地区に参加させていただきたいと思っています。

次に、②小地域福祉活動計画の策定について、市社協では24年度は第一次計画としては徳地島地地区社協を指定し支援を行いました。第二次計画は6年目以降の計画で、吉敷地区社協及び名田島地区社協を指定し支援を行いました。25年度は24年度に住民座談会を開催した柚木地区社協を指定して、第一次計画策定の支援を行う予定です。第二次計画は大歳、陶地区社協を指定し支援を行う予定です。第三次計画は14年度に住民座談会を最初に取り組みされた白石地区社協及び宮野地区社協、秋穂二島地区社協を指定し策定支援を行う予定です。市では小地域福祉活動計画策定支援ということで、財政的な支援をしており、25年度も同様です。また、各担当課の方から、策定会議等に参加させていただいているところです。

次に資料7ページ、活動目標2「地域交流の場づくり」です。

②ふれあい・いきいきサロン、子育てサロンの活動支援事業の推進について、市社協では24年度は235登録サロンへの活動支援を行いました。なお、新しく116サロンの運営費支援を行っています。子育てを中心としたサロンについては、1サロンの支援を行っています。現在235サロンのうち、子育てのサロンが11箇所、障がい児、障がい者のサロンが1箇所、高齢者のサロンが223箇所となっています。25年度も引き続きサロンの支援を行う予定で、情報誌等発行してサロンへの情報提供、器材の貸出、サロン交流会も引き続き行うことにしています。市では、サロン運営費の支援ということで、開設後2年間支援を行っています。サロン会場費の支援ということで、高齢・障害福祉課の所管で事業を行っています。24年度は40サロンに対して補助を行っており、25年度も同様にサロンの運営費、会場費を支援していくこととしています。

次に、④地域型つどいの広場設置助成事業の推進について、市社協では24年度は秋穂二島地区において相談支援を行いました。25年度の地域型つどいの広場助成事業については、相談を承って市に情報提供させていただくことにしています。市では地域型つどいの広場の設置の推進ということで、こども家庭課の所管で設置を進めていまして、運営費を助成してきているところです。25年度は秋穂二島地区に地域型つどいの広場を開設ということで、順次開設が進んでいるということです。

次に8ページ、活動目標3「地域のたすけあい活動の育成」です。

①住民による地域福祉を推進する組織の再構築のための研究について、市

社協では24年度は地域福祉推進組織の設置のマニュアルづくりの研究を行っています。現在、阿東や小郡、阿知須、秋穂、徳地と支部の中で地区社協等が未設置の地区がございまして、その未設置の地区について今後地区社協づくりと言いますか、地域福祉推進組織のマニュアルの研究を行っています。25年度は設置マニュアルを策定する予定です。

次に、④気軽に外出できる移送サービスの提供について、市社協では24年度はチェアキャブの貸出を行っており、243件の貸出件数がありました。小郡支部、阿知須支部においては、地域限定で移送サービス事業を行っており、陸運支局の認可を受けて行っている事業です。25年度は引き続きチェアキャブの貸出を行うことにしており、小郡支部と阿知須支部等の移送サービスについても、引き続き行うことにしています。市では、交通弱者の移動手段の確保ということで、交通政策課の所管でタクシー利用券を交付するグループタクシー利用促進事業の実施を行っており、25年度も同様です。次に高齢・障害福祉課の所管で福祉タクシー券及びおでかけサポートタクシー券の交付ということで、こちらについては対象者を拡大しました。また、福祉有償移送サービスの実施ということで、こちらも25年度も同様に実施を予定しています。

次に10ページ、活動目標4「災害時の要援護者への対応」です。

①地域における共助の災害予防体制づくりの推進について、市社協では24年度は見守り訪問グループ員研修会において、災害支援をテーマにした研修会を7地区で実施しています。また、小地域福祉活動計画の中に災害支援に関する計画を盛り込むよう助言してきました。さらに、災害時等地域支え合いマップにおいて、要援護者登録した方々を中心に個別の支援マップ、一時避難場所への避難経路を示したものを作成しています。24年度は新規として陶、名田島、嘉川地区、更新として佐山、秋穂二島、仁保、宮野地区社協の支援を行っております。25年度は24年度とほぼ同じで、マップでは湯田と鑄銭司の2地区を指定して支援を予定しています。市では自主防災組織の育成強化ということで、防災危機管理課の所管で自主防災組織の手引きの作成、講演、研修会、自主防災組織育成補助金の活用など様々な事業に取り組んでいるところで、25年度も同様に実施予定です。また、市災害時要援護者支援マニュアルに基づく要援護者支援体制の推進について、社会課の所管で、陶や名田島、嘉川地区でマップ作成を契機とした登録促進に取り組んできたところです。さらに、仁保や宮野、秋穂二島等の地区において、要援護者を対象とした避難訓練を契機として要援護者登録を促進してきたところです。25年度も同様にまた取り組んでいくこととしています。

次に、活動目標5「安全に暮らせる防犯活動の推進」です。

①児童、生徒の登下校時の安全の確保について、市社協では24年度は各地区で策定しています小地域福祉活動計画の中に「児童・生徒の登下校時の安全確保に関する活動」ということで計画化を提案しています。25年度も引き続きの取り組みを考えています。市では見守り意識の啓発、子どもの見守り隊の発足促進、子ども110番の家の啓発ということで、社会教育課の所管で、市内各地域に対して取り組み促進・充実のための啓発活動ということで、1,667箇所設置が進んでいるということで、25年度も同様に進

めていくこととしています。また、携帯用防犯ブザー補助金交付事業ということで、教育総務課所管の事業で、全労災から携帯用防犯ブザーの寄贈を受け、市教育委員会を通じて配布しています。25年度も同様に、予定しているところです。

次に、活動目標6「民生委員・児童委員及び福祉員活動の推進」です。

①地区民児協と地区福祉員協議会の合同研修会の開催について、市社協では24年度は地区単位において民生委員児童委員協議会と福祉員協議会が合同で研修会を開催するよう支援しました。25年度も引き続き、合同研修会が開催できるよう支援します。市では、こうした合同研修会を支援していくということで、25年度も同様です。

以上、基本目標2の説明です。

**【草平会長】**

ただいま説明いただきました基本目標2について、御質問、御意見等ございませんでしょうか。

藤田委員。

**【藤田委員】**

資料12ページですが、学校としては様々な相談ができるという関係で、民生委員・児童委員は非常に助かっていますが、委員の高齢化が進んでおり、なかなか相談してもネットワークが難しかったり、頼みごとが心苦しかったりします。人材育成含めて、どういう展開になっていくのでしょうか。

**【草平会長】**

事務局からお願いします。

**【事務局】**

民生委員・児童委員は11月末までの任期で一斉改選期を迎えており、12月からは新たな3年間の任期が始まります。委員の高齢化は課題になっているところであり、推薦基準にも75歳までの方とありますが、地域によってはそれが適わない場合もあると思います。しっかりと活動していただくための時間的な余裕がある方に是非就任していただきたいのと、これまでの人生経験も委員活動には大切になってくると思います。現在、21の地域に対して推薦依頼等の説明を行っていますが、自治会においても、地域の方が相談しやすい方を推薦していただくよう、お願いしているところです。

**【草平会長】**

民生委員の推薦にあたっては、現実には推薦に苦勞されている地区もあれば、すぐ決まる地区もあるということでしょうか。

**【事務局】**

前回の一斉改選の際は、440名中3分の1ぐらいの方が交代されており、選出に苦勞された自治会も4、5地区ありまして、12月1日の任期の開始

に間に合わなかった状況も実際ありました。その後の引き続きの願いを通して、任期が始まってから推薦をいただいた経緯もあります。なかなか決まらない地区には、市も入っていきながらお願いしていくこととしています。

**【草平会長】**

重富委員さんいかがでしょうか。

**【重富委員】**

民生委員さんは70歳から75歳ぐらいが平均でしょうか。児童委員さんは若い方が就任されておられます。高齢ですが何とか活動に取り組んでいるところです。

**【草平会長】**

児童委員が新たな制度としてでてきて、専ら子どもの問題を担当することとなっています。相談件数も多くなってきていますし、民生委員より広い範囲で地域を担当されます。先程からでています地域の担い手不足という問題で、民生委員や児童委員も同様に人材を発掘するのは難しいという現状のようです。

藤井委員。

**【藤井委員】**

民生委員が地域で活動される中で、引きこもりの把握が難しく、なかなか家庭の中に入り込めない部分もあろうかと思いますが、表に出ないというところで民生委員さんも苦慮していると感じます。どう把握すればいいのか難しく、行き詰ってしまうと聞いています。こうしたことから、民生委員さんへの研修プログラムに引きこもりの方への支援を入れていただき、年間を通じて1回ぐらいやっていただくと非常にいいのではないかと思います。

**【草平会長】**

重富委員。

**【重富委員】**

これまで主任児童委員さんには住民一覧表が提供されてなかったんですが、地区担当民生委員さんと同じように、今年度から提供されることになったので、活動も幅広くなると感じています。

**【草平会長】**

引きこもりや虐待等の問題を含めて、潜在的な課題はなかなか見えてこないと思いますが、開けてみて初めて大変な問題が起こっていることがあるかと思しますので、そういった課題が見えるような仕組みを、民生委員活動の中で、現に課題であることを御承知なのに見えてこないかもしれませんし、それぞれの家庭の中で起こっている課題が見えてくる仕組みが必要であろうと思いました。



浴井委員。

**【浴井委員】**

民生委員と福祉員の合同研修会は素晴らしいと思います。民生委員さんは情報等を沢山持っておられるが、福祉員さんはなかなか情報が得られない。福祉員さんも現場で活動するうえで、民生委員さんの情報を知りたいが簡単には得られないとの意見があります。この合同研修会の開催により、情報交換もできるし、素晴らしい新規活動なので、継続してほしいと思います。

**【草平会長】**

高野副会長。

**【高野副会長】**

同じ意見ですが、研修会の開催回数が年1回とありますが、各地区で1回という理解でよろしいでしょうか。はい。

活動目標1の④小地域による需給調整会議の開催とあり、市社協の取り組みとして、24年度に事例集を活用されたように書かれていますが、事例集を見せていただき、様々な地域の中での見守りをするとときに、どういう点をどう見ていけばいいのかということが丁寧にまとめられており、大変勉強になると思いました。こうしたものをうまく活用されて、民生委員さんが需給調整会議を主催されて、福祉員さんも御覧になって、多くの方がこういった事例を見ることによって、地域の中でこういうことを見守りしていくんだなと理解が広まっていくことはとても大事だなと思いました。随時実施と書かれていますが、需給調整会議の実態はどうかたちで行われているのかという辺りを教えていただきたいのと、先程の合同研修会との関係ですね、こういうものがうまく行われているところは、こういう小地域の需給調整会議が行われているのかとか、つながりというか関係というかあるのかどうか。あるとすれば、それを手がかりに、次の計画段階にも盛り込んでいければと思いますので、そこら辺り情報をいただければと存じますが、いかがでしょうか。

**【草平会長】**

事務局。

**【事務局】**

冊子を利用して、地区社協で行います友愛訪問活動の研修会のメニューに入れて、研修会を実施させていただきました。ただ、具体的な会議では、民生委員や児童委員、福祉員などの方が参加される中で、なかなか情報の共有化というところまではハードルが高く、すぐには結びつかない実情もあります。今のところ、民生委員と福祉員の合同研修会、友愛訪問活動の研修会を通じて、需給調整会議やケース検討会の理解を深めていただけるよう努めている状況です。具体的な需給調整会議の件数は把握できていない状況です。

③基本目標3「総合的な福祉サービスの向上」

【草平会長】

新しい仕掛けができたので、その活用について次期計画に課題として持ち込んでいきたいと感じました。また、需給調整会議について、現場では実施されているのですが、市内全体としては見えてこない面があると思いました。1986年から福祉の輪づくり運動ということで進めてきて30年近く経過し、県内でもできているところとそうでないところがあり、具体的には大変難しい、小さな地域で関係者が集まって協議するという仕組みなので、地域福祉の推進にあたって重要な方法であると思いますが、人口が19万人を超えて、面積も1000平方キロを超える中で、どこで何が起きているのかなかなか掌握しづらいところだと思います。次にでてくる地域包括支援センターや各種相談と需給調整会議の位置づけがなされたり、地区社協で行われているこうした活動が私たちに見えるようになっていくことが望まれるのではないかという感じがしました。そのほかよろしいでしょうか。はい。では、基本目標3の説明をお願いします。

【事務局】

基本目標3「総合的な福祉サービスの向上」です。

資料13ページ、活動目標1「総合相談体制の充実・評価」です。

①利用しやすい総合相談窓口の推進について、市社協では24年度は総合相談窓口関連の相談が入ったとき、市の総合相談窓口を紹介しました。なお、市の福祉総合相談窓口から、社協の資金貸付や生活福祉資金、就業資金の貸付等につきまして、逆に相談が入ってくるということで、お互い連携しながら相談に対応しています。25年度も同じように連携しながら相談を行う予定です。市では利用者に対する定期的なアンケート調査ということで、この山口総合支所の窓口で調査を実施しています。資料2を御覧いただき、1ページは調査票で、2、3ページが総合窓口分です。実施期間は2月28日から3月15日までということで、回答者はやや少ない14人ということです。「4. 職員の説明はいかがでしたか」について、分かりやすかった11人、普通3人、「6. 用件がすむまでの時間はいかがでしたか」について、早かった11人、普通3人、「7. 待合場所や窓口の案内表示などはいかがでしたか」については満足や普通ということ、「9. 全体の評価はいかがでしたか」について、とても満足、満足、普通ということで、概ね評価いただいていると考えています。5ページ、総合相談窓口のこども家庭課分です。期間は同じでして、回答者は51人です。「4. 職員の説明はいかがでしたか」について、分かりやすかった43人、普通が8人、「6. 用件がすむまでの時間はいかがでしたか」について、早かった39人、普通12人、「7. 待合場所や窓口の案内表示などはいかがでしたか」について、満足28人、普通23人、「9. 全体の評価はいかがでしたか」について、とても満足、満足、普通ということで、こちらについても概ね評価いただいていると考えています。7ページ、自由記入をいただいております、問9の2行目「子どもと一緒に連れて来づらい」ということで、「狭い」ということでハード的な問題を認識しています。

資料戻りまして、14ページ、活動目標2「個別支援活動の充実」です。

③初期相談に関する研修会の開催について、市社協では24年度は民生委

員・児童委員ブロック別研修会において、初期相談に関する窓口等を周知しました。民生委員・児童委員の4部会において、相談機関の窓口について研修会等を行っています。なお、福祉員連絡協議会においても、相談支援のポイントについて研修会を行っています。25年度も民生委員・児童委員ブロック別研修会において、初期相談に関する窓口等の周知を行う予定にしています。先ほどの友愛訪問の小地区見守り訪問活動グループ員研修会においても、初期相談に関する研修会を開催する予定です。市では各関係地域諸団体及び事業所への研修会の協力ということで、高齢・障害福祉課が実施をしておりますが、地域包括支援センター及び居宅介護支援事業者への研修会等の開催及び開催支援を行っているところです。25年度も同様に実施を予定しているところです。

次に、活動目標3「福祉サービスの利用援助と開発」です。

②福祉サービスに関する情報提供について、市社協では24年度は民生委員・児童委員の研修や福祉員の定例会において、福祉サービスに関する情報提供を市社協の職員や外部講師を招いて行っています。福祉員定例会に出席し情報提供に努めています。25年度も民生委員・児童委員の研修会や福祉員の定例会に出向いて、職員等が福祉サービス等の情報提供を行うことにしています。市では、福祉サービス一覧表の作成ということで、障害者福祉の御案内を高齢・障害福祉課が作成しています。また、民生委員・児童委員の新任研修会、ブロック別研修会、定例会等で福祉サービスに関する情報提供や説明等の機会をいただいています。さらに、福祉の手引きの改定を行い配布するというので、25年度版について最近作成しまして、これから関係者の方へお配りして参りたいと考えています。25年度についても、同じように一覧表等を作成していきたいと思っています。

次に、③引きこもりの方へのボランティア養成講座について、市社協では24年度は引きこもり公開講座の開催の支援を行っています。8月25日に阿知須健康福祉センターにおいて開催いただき、その支援をしています。主催はNPO法人支えてねットワークです。25年度も引き続き引きこもりの講座の開催支援を行うことにしています。市では養成講座への協力ということで、高齢・障害福祉課の所管となります。引きこもり支援者の養成講座について後援を行い、参加者の募集について市報を活用した広報活動を支援してきているところです。25年度も実施を予定しています。

次に、活動目標4「当事者団体への支援」です。

②当事者団体に関する情報提供について、市社協では24年度は市社会課と協働して一覧表を作成しまして、その内容をホームページに掲載し市民の皆様へ情報提供しています。25年度もホームページで紹介させていただきますが、代表者の変更等について訂正をかけていきます。市でも同様にホームページ等を活用して公表してきているところです。25年度も必要に応じて、更新していきたいと考えています。

以上、基本目標3の説明です。

**【草平会長】**

基本目標3について、事務局から説明していただきましたが、御質問、御

<p>(2) 次期計画の策定状況について</p>	<p>意見等ございましたら、よろしく申し上げます。 藤井委員。</p> <p><b>【藤井委員】</b> 15ページの③に関連して、引きこもりの公開講座を25年度も計画しており、9月1日に阿知須健康福祉センターにおいて、長崎大学から講師を招いて発達障害を中心に引き上げて講座を予定しています。また、8月25日に同じ会場において、午前中は医師を招いて、午後は県発達障害支援センターの相談員を招いて、発達障害の講義を予定しています。</p> <p><b>【草平会長】</b> 全体を通じて、御意見等ございませんでしょうか。 小泉委員。</p> <p><b>【小泉委員】</b> 民生委員及び福祉員を推薦する自治会の立場から、民生委員は12月1日から、福祉員は4月1日からと任期の始期がずれていますが、推薦にあたって単位自治会はこれらを踏まえて考えていけないといけませんので、統一できないものでしょうか。</p> <p><b>【草平会長】</b> 民生委員は全国一斉ですから変えられませんが、福祉員は市社協の委嘱になりますので、事務局いかがでしょうか。</p> <p><b>【事務局】</b> 合併して7年が経過し、ようやく3年の任期が統一できたような状況ですので、今後の課題として受け止めさせていただきます。</p> <p><b>【草平会長】</b> 高野副会長。</p> <p><b>【高野副会長】</b> 現在、新しい計画の策定が進んでおりまして、ここで議論しました現行計画に対する様々な意見というものが、策定委員会にはどのタイミングで、どういったかたちで伝えられていくのかということですが、これは7月の策定委員会の中で紹介されていくという理解でよろしいでしょうか。</p> <p><b>【草平会長】</b> 資料5の方で出てきますので、議事(2)次期計画の策定状況について、事務局から説明をお願いします。</p> <p><b>【事務局】</b> 資料5を御覧ください。次期計画の策定状況について、それぞれ全般、策</p>
--------------------------	---

定委員会及び部会として示しておりますが、本日御参会のほとんどの評価委員さんにも御参画いただき、誠にありがとうございます。現在は、第2回策定委員会の日程も7月30日で決定しております。部会についても、実線で囲んだ部会については、既に実施済みであるか、日程が決定しているものになります。点線で囲んだものが、今後の予定ということです。各部会とも第3回目を7月中旬に開催することとしておりまして、本格的な議論に入っていくこととなっています。

また、第2回策定委員会の議題としては、市民4000人を対象に実施しました市民アンケートについて、分析については高野副会長にお願いしておりますので、分析内容等についてのお話をいただくとともに、お尋ねのありました評価委員会における評価や御意見などを持ち込みながら、委員の皆様と議論していただけたらと考えています。本日も、資料4としてこれまでの評価委員会における意見をお示ししており、こちらは既に第1回策定委員会においてお示ししております。

さらに、11月から市議会等に対して説明を行うとともに、12月からパブリックコメント等を実施、その前後に第3回及び第4回の策定委員会を開催して、3月に公表できればと考えています。説明は以上です。

**【草平会長】**

次期計画との関係について説明していただきましたが、そのほか御意見等ございませんでしょうか。

岡山委員。

**【岡山委員】**

総合相談窓口のアンケートですが、職員の態度はよかったですとありますが、窓口対応が良くなったと思います。昔、経験があるんですが、福祉の相談というのは、なんとなく恥ずかしいというか、児童福祉手当などお金の相談も気恥ずかしいという思いで窓口に行っていました。手当ての手続きに行ってお尋ねしたら、毎年あなた手当てもらっているではないですか、そんなのわかってるはずですよ、というような答えが返って来ていました。今は感じよく手続きしていただきますので、随分窓口が変わったなと思っていますし、これからもそうあっていただきたいと思っています。

**【草平会長】**

相談窓口アンケートの内容ですが、市役所に辿り着くまでにどうでしたか、というような内容を入れてもいいかもしれません。厳しい道のりで辿り着かれたのか、また民生委員さんや各種福祉相談により辿り着かれたのか、ダイレクトに来られたのか、いろんな経路があるでしょう。福祉サービス向上部会では、総合相談窓口が1箇所でもいいのかというような議論もあると思いますので、アンケート内容についても検討する必要があると思います。

また、小地域福祉活動計画が既に第3次まで行っているというところで、これは永遠につくらなければいけないのか、地域の方が率先してつくっておられるのか、その辺のところもお聞きしたいと思っています。小泉委員さん

	<p>からも発言がありましたように、協働のまちづくりにおいても計画づくりが要請されていて、すんなり一緒になれる地域もあれば、なかなか難しい地域のあると思いますので、そこら辺りは評価委員会や策定委員会の中で話せるものなのかどうなのか、若干疑問に持ちながら進行させていただきました。</p> <p>皆様方から貴重な御意見等いただき、今年度の評価が次期計画につながっていく非常に重要な位置づけになりますが、委員全員から自発的に御意見等いただき、活発な評価委員会になり感謝しております。今仕事の方で、計画をつくって実施して、評価を受ける立場を仰せつかっていて、自分たちの活動をどう可視化して評価いただくか、計画における評価の指標づくりは大変難しいとの印象を持っています。がんばっているんだけど、なかなか表にでてこないということもあります。次期計画の策定にあたっては、活動が見えるようかたちで、評価できるようなかたちで工夫をしていく必要があると感じました。</p> <p>本日は、皆様方の御協力をいただき、誠にありがとうございました。 以上をもちまして、進行を事務局にお返しいたします。</p> <p><b>【事務局】</b> 草平会長、ありがとうございました。 最後に、大田健康福祉部長が御挨拶を申し上げます。</p> <p>〔大田部長挨拶〕</p>
<p>会議資料</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・席次表</li> <li>□次第等 <ul style="list-style-type: none"> <li>会議次第</li> <li>配布資料一覧</li> <li>評価委員名簿、事務局名簿</li> <li>山口市地域福祉計画評価委員会設置要綱</li> <li>山口市地域福祉活動計画評価委員会設置要綱</li> </ul> </li> <li>□資料1 <ul style="list-style-type: none"> <li>平成24年度実施状況及び平成25年度実施予定</li> </ul> </li> <li>□資料2 <ul style="list-style-type: none"> <li>福祉総合相談窓口利用者アンケート結果</li> </ul> </li> <li>□資料3 <ul style="list-style-type: none"> <li>市社会福祉協議会広報紙（こちら社協です）</li> </ul> </li> <li>□資料4 <ul style="list-style-type: none"> <li>これまでの評価委員会における主な意見等</li> </ul> </li> <li>□資料5 <ul style="list-style-type: none"> <li>次期計画の策定状況について</li> </ul> </li> </ul>
<p>問い合わせ先</p>	<p>健康福祉部 社会課 総務担当  (TEL) 083-934-2790 (FAX) 083-934-5087  (Eメール) shakai@city.yamaguchi.lg.jp</p>